

平成30年の救急概要

平成30年中における救急概要を見ると、出場件数9,169件(対前年比182件増、約2.0%増)搬送人員8,861人(対前年比200人増、約2.3%増)である。

これは管内で、1日平均約25.1回(前年約24.6回)救急車が出場し、住民の約21人(前年約22人)に1人が救急隊によって搬送されたことになる。

市町別出場状況

塩竈市	3,306件(前年3,176件)
多賀城市	2,637件(前年2,540件)
松島町	1,047件(前年1,013件)
七ヶ浜町	758件(前年756件)
利府町	1,416件(前年1,493件)
他市町	5件(前年9件)

事故別出場状況

	H30	H29
第1位	急病	(同左)
第2位	一般負傷	(同左)
第3位	転院搬送	(同左)
第4位	交通事故	(同左)
第5位	運動競技	(同左)

月別出場状況

第1位	1月	880件
第2位	12月	843件
第3位	7月	804件
第4位	10月	803件

傷病程度別搬送状況

第1位	中等症	5,192人	58.6%
第2位	軽症	2,474人	27.9%
第3位	重症	1,089人	12.3%
第4位	死亡	106人	1.2%

年齢区分別搬送状況

高齢者(65歳以上)が最も多く5,594人、次いで成人2,485人、乳幼児、少年、新生児の順

平均現場到着所要時間
7分39秒
(覚知から現場に到着するまでの時間)

平均病院等収容所要時間
38分13秒
(覚知から医療機関に収容するまでの時間)

医療機関別搬送状況

- 救急告示病院は、
8,666人(97.8%)
- その他の医療機関は、
195人(2.2%)
- 管内搬送は5,915人
(全体の66.8%)